

# 散り行く花



[散り行く花\\_下载链接1](#)

著者:伽古屋 圭市

出版者:講談社

出版时间:2017-8-23

装帧:单行本

isbn:9784062206921

止むに止まれぬ動機から女性たちが犯した犯罪。彼女たちの前に現れたのは、美人画

で有名な人気絵師だった。「その美を僕の手で永遠に残してみたい」とモデルを頼む一方、幾重にも隠したはずの罪にも巧みに迫っていく。思いもよらない一点から論理的に真相が導き出される鮮やかさ。「このミステリーがすごい!」大賞優秀賞受賞作家がついに書きえた新たな傑作!

作者介绍:

伽古屋 圭市

1972年大阪府生まれ。公務員退職後、『パチプロ・コード』で第八回『このミステリーがすごい!』大賞優秀賞を受賞し2010年にデビュー。

目录:

[散り行く花\\_下载链接1](#)

标签

推理

伽古屋圭市

评论

<http://lockedroom.net/blog/?p=3662>

“世上最美的，不过是杀人的女子。”四个短篇均发生在大正年间，凶手无一例外是女人，侦探是能看到犯罪女子光环的美人画师。头三篇是倒叙推理，最后一篇以画师本人的视点叙述。3>1>2>4，尤其推荐3、1的叙述性诡计，看似一开始便将案情整个展示在读者面前，结尾却出现意外的逆转。作者对女子感情的细腻把握，以及构图、行文中流露出来的淡淡的变态向，神似前辈大师連城三紀彦。推荐。

-----  
[散り行く花\\_下载链接1](#)

书评

据说很像连城三纪彦风格的作品，看了以后感觉还是有所区别的。似乎连城的作品偏重于情感，而这位作家则偏重于诡计，只能说各有千秋吧。  
故事从某美术馆员受邀鉴定某大正时期名画家作品展开，讲述了四个犯下杀人罪行的恶女的故事： 《杜鹃之毒》： 某女自结婚起就对丈夫无爱，一...

-----  
[散り行く花\\_下载链接1](#)